市長定例記者会見の概要（平成29年第3回市議会定例会ほか）

8月29日、14:00～、201会議室

平成29年第3回市議会定例会(9月4日に召集)について概要説明を行いました。
続いて下記項目を発表。

1 「立川市特定空家等の適正管理に 関する条例」を制定します(生活安全課)

2 第59回北多摩地区消防大会及び平成29年度総合防災訓練の開催について(防災課)

3 指定管理者によるレンタサイクル事業の実施について（交通対策課）

4 アール・ブリュット立川2017の開催について(地域文化課)

5 たちかわ市民交流大学10周年について(生涯学習推進センター)

定例記者会見発表資料

平成 29 年８月 29 日（火）
立川市総合政策部広報課

発 表 項 目	「立川市特定空家等の適正管理に関する条例」を制定します

【概要】

空き家の適正管理については所有者や管理者に第一義的な責任がありますが、空き家の市民の生活環境に与える影響の広がりとともに、平成２７年５月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が完全施行されるなど、行政による空き家対策が求められてきています。

本市においても、平成２８年６月議会で「立川市空き家等の適正管理に関する条例」の制定に関する請願が採択されるなど、市民要望の高まりがあることから、火災、犯罪等の発生の防止や、市民の良好な生活環境の確保を図り、市民が安全で安心して生活できる地域社会の実現に資することを目的に、特に喫緊の課題である危険な空き家等への対応を主眼とした条例を制定します。

主な内容は、①市及び空家等所有者等の責務、②空家等の所有者等に対する当該空家等の適正管理を求める要請、③空家法に規定する「特定空家等」の認定、④「特定空家等」の認定や行政代執行等について意見を聞くための「特定空家等認定審査会」の設置、⑤緊急時に市が空家等に起因する被害を防ぐため所有者等の負担において実施する応急措置等についてです。

９月議会に条例案を上程し、可決成立後約半年の周知期間を取り、平成３０年４月１日に施行したいと考えております。

【事業費（案）】

未定

【開始時期】

平成３０年４月１日施行（予定）

※今議会で関係する議案・報告委員会：「立川市特定空家等の適正管理に関する条例」

添 付 資 料	無
問い合わせ先	市民生活部生活安全課長　杉山　久徳 電話：５２３－２１１１（内線）２１４０

定例記者会見発表資料

平成 29 年 8 月 29 日（火）
立川市総合政策部広報課

発 表 項 目	第５９回北多摩地区消防大会及び平成２９年度総合防災訓練の開催について

【概要】

第５９回北多摩地区消防大会

平成２９年９月１０日（日）午前９時４０分から国営昭和記念公園みどりの文化ゾーンで、第５９回北多摩地区消防大会を開催します。北多摩地区１７市の消防団員約８５０名が一同に集まり、連絡協調、団員の士気高揚及び技術の向上を図るものです。

主な内容としては、消防車両４０台による市内パレード、立川市消防団を含む東京都消防操法大会出場隊５隊による基本操法演技、１７市のポンプ車による一斉放水演技、表彰等となっております。その他に、一般来場者向けの防災体験スペースを設け、初期消火体験や、煙体験、起震車体験など様々な体験を行う事が可能です。

平成２９年度総合防災訓練

平成２９年１１月１２日（日）　９時～

立川第八中学校を主会場に、地域や各一次避難所を活用し開催

多摩地域を震源とする大地震を想定した発災対応型訓練で、市民、防災関係機関、立川市の災害初動期の対応を中心とした実践的な実動訓練を行うことを基本方針として実施いたします。

具体的には、地域参加者と市が連携した避難行動要支援者安否確認訓練、スタンドパイプを活用した消火栓からの消火訓練や立川第八中学校に整備したマンホールトイレの設営訓練等を実施するとともに、一次避難所で職員参集と情報伝達訓練等を実施いたします。

市民と防災関係機関 38 団体が訓練へ参加いたします。

【ＰＲポイント】

第５９回北多摩地区消防大会は、北多摩１７市の輪番で実施しているため、立川市での開催は１７年ぶりとなります。

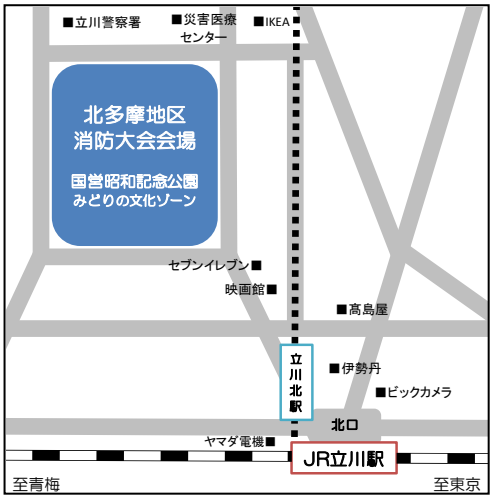
添 付 資 料	有（北多摩地区消防大会チラシ）
問い合わせ先	市民生活部　防災課長　茅沼　孝治 電話：５２３－２１１１（内線）2138

第59回　北多摩地区消防大会

北多摩地区消防大会は北多摩地区の消防団が集まり、消防演技や表彰などの式典を行います。たくさんの消防車が集まりますので見ごたえは十分です！立川市での開催は１７年ぶりです！
会場内で防災体験もできますので是非ご家族でご来場ください！

１　大会日時

平成２９年９月１０日（日）
大　会　式　典：午前９時４０分～正午
パ　レ　ー　ド：午前８時４０分～
防災体験ラリー：午前９時００分～正午
※荒天の場合は別会場で式典のみ実施します。
一般の方の観覧はできません。



２　会　　場

国営昭和記念公園　みどりの文化ゾーン　他

３　主な見どころ

- 市内パレード
（市内を４０台の消防車がパレードをします！コースは裏面をご覧ください。）

- 基本操法演技　※荒天中止
（東京都消防操法大会に出場する５市が展示演技を行います。）

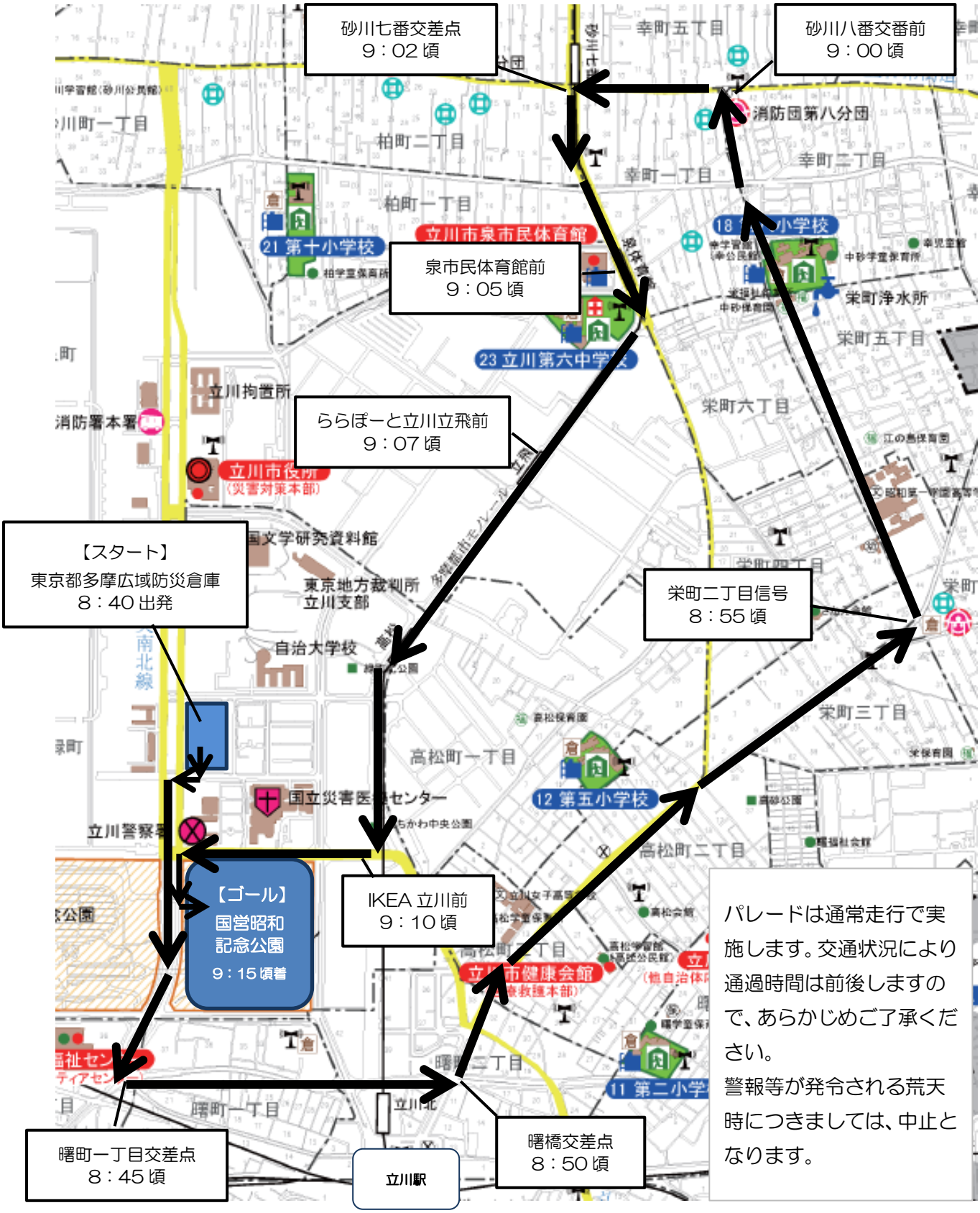
- 一斉放水演技　※荒天中止
（北多摩の１７市の消防車が一斉に放水をします。迫力満点！）

- 防災体験ラリー（防災運動会）　※雨天中止
（初期消火体験や、煙体験、起震車体験などを誰でも体験できます。
対象の体験を全て行うと、景品がもらえます！※数に限りがありますのでご注意ください。
その他、はしご車乗車体験、ふわふわスライダーなどもあり、親子で楽しめます！）

お問合せ先
立川市市民生活部防災課
電話　042-523-2111（内線）2535

主催：北多摩地区消防団連絡協議会　立川市幹事　共催：国営昭和記念公園　協力：立川消防署　立川防災館

第５９回　北多摩地区消防大会パレードコース



定例記者会見発表資料

平成 29 年 8 月 29 日（火）
立川市総合政策部広報課

発 表 項 目	指定管理者によるレンタサイクル事業の実施について

【概要】

市内有料自転車駐車場の指定管理者である日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社が、自主事業としてレンタサイクル“Ｔ-ＢＩＫＥ”を始めました。

・貸出場所　：　立川駅北口西地区有料自転車駐車場（立川タクロス　２階）
・営業時間　：　２４時間３６５日
・対象　　：　高校生以上(保護者同伴で中学生も利用可能)
・受付方法　：　管理室にて受付
・料金体系　：　　６時間　　５００円
　　１２時間　　８００円
　　２４時間　１，１００円　(税込)
　※自転車安全ビデオを視聴し会員登録した場合、１００円割引
・自転車　　：　電動アシスト自転車　１０台

【開始時期】

平成 29 年 8 月 21 日(月)

【ＰＲポイント】

・ＪＲ立川駅直結の便利なロケーション
・２４時間３６５日貸出・返却が可能
・電動アシスト自転車で気軽に回遊が可能

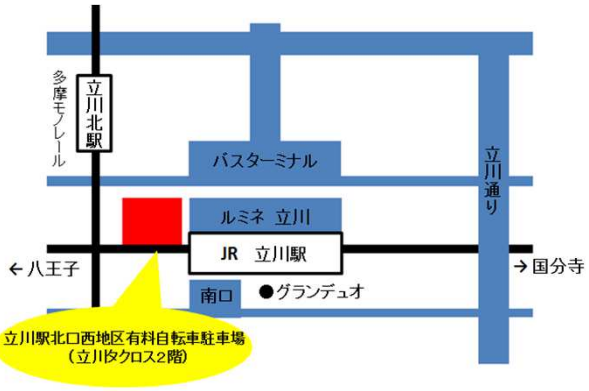
※今議会で関係する議案・報告委員会：環境建設委員会にて報告

添 付 資 料	有
問い合わせ先	まちづくり部交通対策課長　浅見　知明 電話：５２３－２１１１（内線）2108

立川タクロス 2階
レンタサイクル
T-BIKE

T-BIKEに乗って、立川を満喫しよう！
立川には駅周辺以外にも見どころがたくさん！
歩くには、少しキツイな～と思ったらレンタサイクルをどうぞご利用ください♪

貸出場所　立川タクロス 2階
立川駅北口西地区有料自転車駐車場
〒190-0012 東京都立川市曙町2丁目2-27



自転車　電動アシスト自転車 10台
YAMAHA PAS CITY-C
(20インチ/カゴ・両足スタンド付)

営業時間　24時間365日

受付方法　管理室にて受付（料金は券売機にて前払い）

料金体系（税込）　**6時間 500円、12時間 800円、24時間 1,100円**
※自転車安全ビデオを視聴し会員登録した場合、100円割引
※時間超過の場合は、1時間ごとに100円加算（返却時に精算）

貸出条件　写真付身分証明書（免許証、パスポート等）、申込書への記入
高校生以上

加入保険　TSマーク付帯保険
自転車損害賠償責任保険

注意事項
- 飲酒、体調不良等、正常ではない状態でのご利用はご遠慮願います
- レンタサイクルご利用中の事故について、当方では責任を負いかねますのでご了承ください
- 鍵のかけ忘れ・故意・違法行為などによる自転車の盗難・破損・故障の場合は、実費にてお客様のご負担となります
- 交通ルールと駐車マナーを守ってください
- 歩行者や他のお客様の迷惑にならないようにご注意ください
- 自転車の放置禁止区域での駐車は禁止です
- 貸出台数に限りがございますので予めご了承ください
- 詳しくは、下記のお問い合わせ先までご連絡ください

電動アシスト自転車
（YAMAHA　PAS　CITY-C）

お問い合せ

立川駅北口西地区有料自転車駐車場
042-529-6555
指定管理者　日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

定例記者会見発表資料

平成 29 年 8 月 29 日（火）
立川市総合政策部広報課

発 表 項 目	アール・ブリュット立川 2017 の開催について

【概要】

多摩地域を中心に活動する、障がいのある才能ある作家のアート作品展「アール・ブリュット立川 2017」を 2016 年に引き続き官民協働で開催します。創造力の限りを尽くし、魂を込めて表現された「こころが描くアート」は、観る人に感動を与えます。今年で 3 回目となる作品展ですが、2015 年、2016 年の前回、前々回では共に 5,000 人を超える方にご来場いただきました。今年は 2016 年の展示会場である、伊勢丹立川店、多摩モノレールの 5 駅に加え、立川市子ども未来センター、なみき画廊にも展示会場を拡大します。

※アール・ブリュットとは
加工されていない「生(き)の芸術」という意味のフランス語で、伝統や流行に左右されず自身の内側から湧きあがる衝動のままに表現した芸術のことを言います。

【事業期間】

会場	期間	時間
伊勢丹 立川店 5階／特別室 2階／ギャラリースクエア(特設会場)	10月25日(水)～30日(月)	10:00～19:00 (最終日5階展示室のみ17:00まで)
多摩モノレール ・玉川上水駅 ・砂川七番駅 ・泉体育館駅 ・高松駅 ・高幡不動駅(各駅構内)	10月1日(日)～31日(火)	最終日 12:00まで
立川市子ども未来センター 地下ギャラリー	10月3日(火)～18日(水)	10:00～17:00 (最終日12:00まで)
なみき画廊	11月1日(水)～7日(火)	11:00～18:00 (初日13:00～最終日16:00まで)

【ＰＲポイント】

・2015 年、多摩地域で初めて開催された「アール・ブリュット立川 2015」から今年で 3 回目の開催。今年は 2016 年より更に展示会場を増やしてバージョンアップ。
・立川のアール・ブリュット展は行政主導ではなく、市民の熱意から始まり、協賛金等も実行委員会が集め、行政は裏方として支援している点が特徴。

※今議会で関係する議案・報告委員会：なし

添 付 資 料	有 （フライヤー）　　無
問い合わせ先	■立川市産業文化スポーツ部地域文化課　岡本 TEL　042-506-0012　　FAX　042-525-6581 ■アール・ブリュット立川実行委員会　松嵜 TEL　080-4000-5197

ABT 「ハートのトラの親子」
©阿山隆之2017

アールブリュット 立川 2017

アートが
あなたのこころに
駆けてくる。

ART BRUT TACHIKAWA 2017

■10月 25日(水) – 30日(月)

伊勢丹 立川店

[会場] 5階／特別室
2階／ギャラリースクエア(特設会場)
[時間] 10:00 – 19:00
(最終日 5階特別室のみ17:00まで)
[入場] 無料

★ **オープニングセレモニー** 10月25日(水) 10:10～
★ **光バンド演奏** 10月25日(水) 10:30～10:45
※都合により変更になる場合がございます。

■10月 1日(日) – 31日(火)

多摩モノレール

- 玉川上水駅
- 砂川七番駅
- 泉体育館駅
- 高松駅
- 高幡不動駅

(各駅構内)
(最終日 12:00まで)

■10月 3日(火) – 18日(水)

立川市 子ども未来センター 地下ギャラリー

10:00 – 17:00
(最終日 12:00まで)

■11月 1日(水) – 7日(火)

なみき画廊 セレクト展

11:00 – 18:00
(初日 13:00～ 最終日 16:00まで)

助成:アーツカウンシル東京
(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京文化プログラム

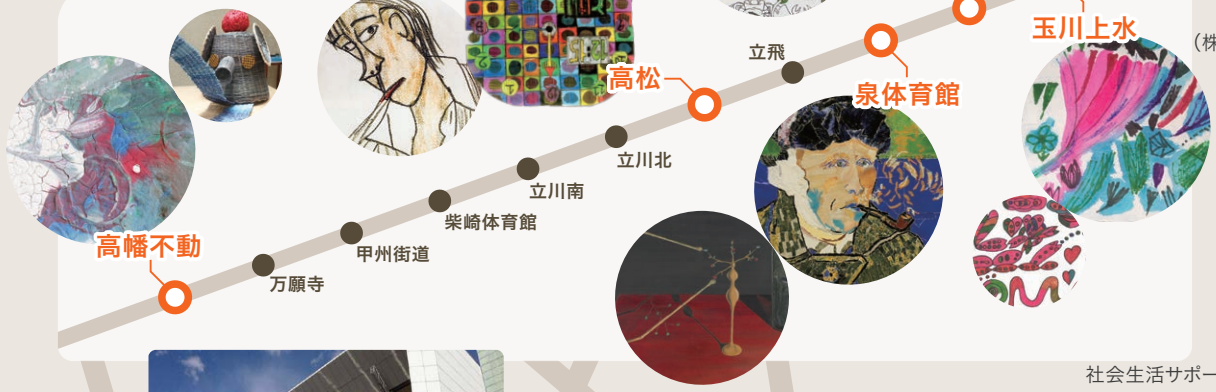
アール・ブリュット立川2017

〈 出展作家 〉
阿美 美貴
阿山 隆之
荒井 聡子
安家 史子
安藤 和弘
飯室 裕太
伊賀 敢男留
井川 知美
池邉 遊
石井 大輔
石倉 真理
石澤 孝幸
泉谷 知明
一場 智幸
市村 遼平
伊藤 広哲
井上 至高
岩﨑 岳
岩崎 菜摘子
岩橋 徹
臼田 祐太
内田 怜
江崎 健
江中 裕子
榎本 宏
遠藤 秀治
岡部 綾
岡部 亮佑
岡本 大地
柿村 大輝
金村 勇宏
木下 あずみ
久下 智香
小磯 幸恵
小坂 真一
小関 賢輔
古名 和哉
小林 智貴
佐々木 洋史
佐藤 由幸
佐藤 駿介
佐藤 寛子
佐藤 由喜男
品田 絵理
篠原 梨花
柴田 将人
島田 竜一朗
清水 峰男
志村 雅司
下田 国幸
東海林 陽子
杉本 太一
杉山 千恵
鈴木 伸明
高田 踊琴
田中 俊
田中 ノエル
玉川 宗則
土屋 信彦
角田 一都
長井 啓子
永田 大輔
中西 夏子
中西 良輔
仲吉 陽光
西山 洋亮
野口 明日香
橋本 昌樹
長谷川 亮介
林 航平
葉山 茂
原島 啓輔
幕内 泰心
益子 隼弥
益子 稔
松本 作和子
村井 慎一朗
村上 智子
村上 真由美
森 隆敏
矢﨑 信光
簗瀬 和明
山川 大樹
吉川 博之
渡辺 賢史
～五十音順敬称略～
※掲載されている作家が変更になる場合があります。

〈 特別協賛 〉
(株)立飛ホールディングス
多摩都市モノレール(株)
立川バス(株)

〈 協賛 〉
(株)アイサービス
(株)浅井ゲルマニウム研究所
(株)浅井フーズクリエイション
天野不動産(株)
(株)石川
伊藤産業(有)
(株)いなげやウィング
いろりん
岩﨑商事(株)
岩﨑倉庫(株)
岩﨑不動産(株)
(株)円グループ
KANTAN Inc.
ガレリアサローネ
(株)けやき台住宅
さくらんぼ保育園
(福)至誠学舎立川
社会生活サポートセンターこみっと
障害のある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
NPO法人しらゆり
NPO法人自立生活センター・立川
NPO法人自立生活センター・東大和
真如苑
鈴春商事(株)
(福)すみれ会
生活雑貨SARAハウス
西武信用金庫立川南口支店
そばCafe風庵
高木税務会計事務所
(有)タカハシ食品
(福)滝乃川学園
(株)ダジュール
立川市肢体不自由児・者父母の会たつのこ
NPO法人立川市障害者後援会
立川市手をつなぐ親の会
立川福祉作業所
たまfunアート
地域生活支援センター マーキー
中央労働金庫立川支店
TOC furniture
NPO法人テイクオフ
(税)藤花
東京ガス(株)多摩支店
東京立川ライオンズクラブ
土地家屋調査士伊賀雄史事務所
永井画廊立川ギャラリー
西東京共同法律事務所
(有)羽山工務店
福生第二学園
(株)プロダクションアイムズ
NPO法人学びの広場
(福)幹福祉会
(有)峰工業
(資)MERRY ROOM
木馬工房
(株)ヤマヲ
NPO法人結の会
NPO法人ゆるら
～五十音順敬称略～

〈 作品協力 〉
いろりん
(特非)しらゆり
(福)すみれ会
(福)それいゆ 花の里
(福)滝乃川学園
(福)東京光の家
(福)にじの会
平川病院(造形教室)
福生第二学園
(特非)学びの広場
(福)武蔵野会
木馬工房
(認定特非)やまぼうし
(特非)結の会
(福)友愛学園



伊勢丹 立川店
[住所]立川市曙町2-5-1　[TEL]042-525-1111

なみき画廊
[住所]立川市曙町2-14-34 ルミナス立川
[TEL]042-523-1775

北口
JR 立川駅
南口

錦第二公園
ホテル日航立川 東京
セブン- イレブン
松乃屋 立川店
ホテルマイステイズ立川

立川市子ども未来センター
[住所]立川市錦町3-2-26　[TEL]042-529-8682

[主催] アール・ブリュット立川実行委員会
[共催] 立川市、立川市社会福祉協議会、(株)三越伊勢丹 伊勢丹立川店
[後援] 立川市教育委員会、立川市地域文化振興財団、
立川商工会議所、立川観光協会、立川市自治会連合会、
立川市商店街振興組合連合会、立川市民生委員・児童委員協議会、
立川市障害者後援会、立川青年会議所、東京立川ロータリークラブ、
東京立川こぶしロータリークラブ、東京立川ライオンズクラブ、
国際ソロプチミスト立川、(福)愛成会
[協力] なみき画廊(展示)、石田敏行(銅管アート)、多摩信用金庫(広報)、
たまfunアート(設営)、中村能己(映像)、
アール・ブリュット立川サポーターズの会、KANTAN Inc.(広告企画制作)

お問合せ先
お電話：080-4000-5197(アール・ブリュット立川実行委員会)
メール：abt.tachikawa@gmail.com
ホームページ：artbruttachikawa.wixsite.com/artbruttachikawa
facebookページ：https://www.facebook.com/artbruttachikawa

アール・ブリュット立川　検索

ホームページ　facebook

定例記者会見発表資料

平成 29 年 8 月 29 日（火）
立川市総合政策部広報課

発 表 項 目	たちかわ市民交流大学 10 周年について

【概要】

立川市では、少子高齢社会や地方分権の時代を向かえ、社会のキーワードとなってくる「生涯学習」に焦点を当て、人や地域の活性化、地域づくりに生かしていくことを目指して、平成 19 年 10 月に「たちかわ市民交流大学」を開講し、今年、10 周年を迎えました。

生涯学習は、楽しみ、生きがい、人生を豊かにするものであり、「生きる力」を育むもの、自らの能力やスキル、健康を向上させるものであり、自己実現を助けていくものです。「たちかわ市民交流大学」は、こういった市民の主体性が発揮されやすい生涯学習の持つ特性に注目し、講座事業を中心に「生涯学習からはじまるまちづくり」、「市民力で創る生涯学習」の実現を目指した立川市独自の生涯学習機構であります。

また、「たちかわ市民交流大学」では、事業の全てを行政職員が担う「行政企画講座」だけでなく、市民自身が企画・実施する「市民企画講座」を多くの市民の参画を得て展開しており、事業全体として、市民と行政の協働により事業を進めていくことを大きな事業の柱として位置づけています。

このため、市民ニーズや地域課題、行政課題などに即した、市民交流大学の名にふさわしい学びと交流のあふれる講座を、市民企画講座を担う「市民推進委員会」や行政各部署のほか、自ら広く市民に学習機会を提供したいと考えるサークルや市民活動団体など、それぞれの実施主体が自主的に企画し、市の様々な学習施設を活用しながら、主体的に運営しています。

このたび、10 周年記念として、10 月に市民交流大学のしくみや 10 年間の活動をわかりやすく説明する「パネル展示」、講座情報誌「きらり・たちかわ」の 10 年間の表紙デザイン画と併せて、表紙を描き続けてきた「深水雅一郎（ふかみまさいちろう）」氏の作品展を実施します。

「きらり・たちかわ」は、10 周年を機に秋号から紙面をリニューアルします。今回は若いお母さん方が編集に携わり、幅広い年代の方々に手に取ってもらえるようアイディアを出し合って作りました。

また、「市民推進委員会」が企画・実施する記念講演会として

10/7（土）、国立極地研究所教授・広報室長で、過去に第 58 次南極観測隊隊長を

務められた本吉洋一氏を講師に「60 周年を迎えた南極観測の今」を

10/22（日）、ウルトラマンの監督・脚本を務めた飯島敏宏氏を講師に「テレビの青春・ウルトラマン誕生のすべて」を

11/11（土）、相田みつを氏の息子さんで、相田みつを美術館館長の相田一人氏を講師に「にんげんだもの　父・相田みつをを語る」を実施します。

会場と開催時間はいずれも、女性総合センター・アイム１階のホールで 14:00～16:00 です。

これからも、「市民力で創る生涯学習」を推進し、市民の皆さんと共によりよいまちづくりを目指してまいります。

【事業期間】

パネル展と記念講演会は 10 月～11 月

【ＰＲポイント】

市独自の生涯学習機構である「たちかわ市民交流大学」は 10 周年を迎えました。

添 付 資 料	有
問い合わせ先	教育部生涯学習推進センター長　五十嵐　誠 電話：５２３－２１１１（内線）４８１０

特集 ――市民交流大学10周年――

おかげさまで きらり・たちかわ は、10周年を迎えました。

たちかわ市民交流大学が発足して、今年の秋で10年になります。

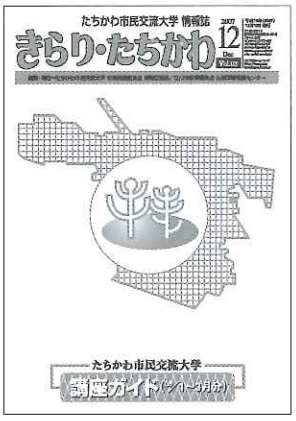
そこで、市民交流大学の講座情報誌「きらり・たちかわ」では、前号と今号にわたって10年の歩みを紹介しています。前号ではこれまでに取り上げた連載記事などを紹介しました。

今号では、表紙の歩みを辿ります。第1号から深水雅一郎さん（立川市在住）にデザインしていただきました。カラーでお見せできないのが残念ですが、10月開催の『「きらり・たちかわ」10年の歩みと深水雅一郎展』で見ることができます。

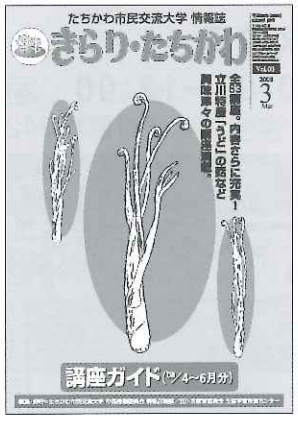
お楽しみに！

1号（2007.9）

2号（2007.12）

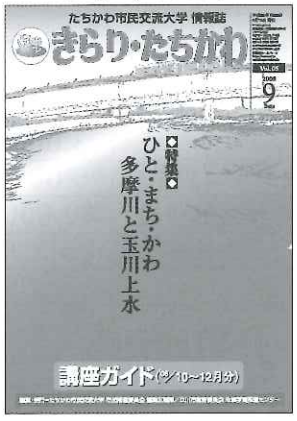


3号（2008.3）



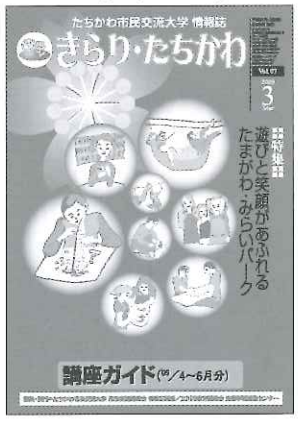
4号（2008.6）

5号（2008.9）



6号（2008.12）

7号（2009.3）



8号（2009.6）

9号（2009.9）

10号（2009.12）

11号（2010.3）

12号（2010.6）

13 号（2010.9）

14 号（2010.12）

15 号（2011.3）

16 号（2011.6）

17 号（2011.9）

18 号（2011.12）

19 号（2012.3）

20 号（2012.6）

21 号（2012.9）

22 号（2012.12）

23 号（2013.3）

24 号（2013.6）

「きらり・たちかわ」創刊 10 年、おめでとうございます

10 年を振り返ってみると「早い、もう 10 年か。笑い話のようだけど創刊号は“わら半紙”のような紙だったっけ。その上、印刷は市役所内の簡易印刷機だったし、仕上がりの質は悪かったなあ。」ということが真っ先に思い出されます。この状況を一刻も早く改善してほしいと、担当者に苦情を申し出たこともありました。

市民交流大学情報誌の主旨や記事内容、意欲は良かったのですが、当時は見栄えに対する意識が今と比べると相当違っていたように思いました。

今や体質も容姿もすっかり端麗になった「きらり・たちかわ」に関われることを光栄に感じながら、市民と共生しつつ益々の発展を期待します。

深水 雅一郎

25 号（2013.9）

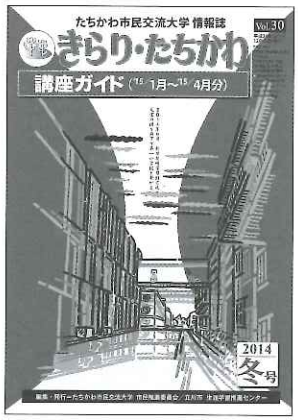
26 号（2013.12）

27 号（2014.3）

28 号（2014.6）

29 号（2014.9）

30 号（2014.12）



31 号（2015.3）

32 号（2015.6）

こうして 10 年分の表紙を集めてみると、結構な迫力です。「こんなに長い間やってきたのか～。」と思う反面、自分でも不思議なくらい「あっという間の 10 年」でもありました。この間、たくさんの市民の方々に誌面に登場していただき、多くの編集委員が関わって、「きらり・たちかわ」が続いてきました。

編集委員としては、すべてが満足のいく内容ではありませんでしたが、続いたことを誇りに思います。

次の秋号は、若い編集委員を迎えて、新しい誌面を目指し奮闘中です。次なる 10 年に向け、不安と期待とを持ち、新たなスタートです。読んでくださった皆様、ありがとうございました！！

（加藤倫）

33 号（2015.9）

34 号（2015.12）

35 号（2016.3）

36 号（2016.6）

37 号（2016.9）

38 号（2016.12）

39 号（2017.3）

10年のご愛読に感謝いたします。
次号の
「きらり・たちかわ」
は一新！

市民交流大学10周年記念イベント

深海の巨大イカ類 vs マッコウクジラ

9/2（土）14:00～16:30　女性総合センター　＊詳細は３ページをご覧ください。

【講師：窪寺恒己さん（国立科学博物館名誉研究員）】
2004年、小笠原沖の深海で、世界で初めてダイオウイカの生きている姿を撮影することに成功。2006年には実際に生きたダイオウイカを釣り上げ、その衝撃的な映像で世界を驚かせる。2007年、ニューズウィークの「世界が尊敬する100人の日本人」に選ばれる。2012年7月、NHK、ディスカバリーチャンネルと国立科学博物館の共同プロジェクトでダイオウイカの生態映像の撮影に成功。2013年1月に「NHKスペシャル」で発信され、世界中を驚愕させる。2014年7月、海洋立国日本の推進に関する特別な功績分野で、内閣総理大臣賞を受賞。

テレビの青春・ウルトラマン誕生のすべて

10/22（日）14：00～16：00　女性総合センター
＊詳細は４ページをご覧ください。

ウルトラマン放送開始50周年。
往年の「ウルトラQ」（1966）、「ウルトラマン」（1966）の監督・脚本を務めた飯島敏宏さんを講師にお迎えします。ご自身で編集されたDVDを見ながら昔を思い出し、楽しいひと時を過ごしましょう。お子さんも一緒にぜひどうぞ！

「きらり・たちかわ」10年の歩みと深水雅一郎展

10/3（火）～8（日）　柴崎学習館

本誌でご紹介した「きらり・たちかわ」の表紙デザイン画の展示と深水雅一郎さんの作品展を開催します。
この機会にぜひご来場ください。

市民交流大学10周年パネル展

■立川市役所　１階多目的プラザ
10/10（火）～16（月）
■女性総合センター　１階ギャラリー
10/17（火）～22（日）

立川市公民館から70年「多摩の公民館運動のあけぼの」（仮）

10/28（土）12：30～16：30　柴崎学習館

にんげんだもの　父・相田みつをを語る

11/11（土）14:00～16:00　女性総合センター
講師：相田一人さん（相田みつを美術館　館長）
＊詳細はきらり・たちかわ秋号に掲載予定

市民交流大学は今年10周年を迎えます。
約70年前に、中央公民館（柴崎学習館の前身）が、多摩地域で全国的にも早期に設立され、公民館運動の輝く星の一つでありました。
当初より公民館は、まちづくり、学びの拠点として多くの市民の集いの場でした。
行政と市民が一緒に作り上げる市民交流大学は、他地域には見られない生涯学習の仕組みを持っています。私たち市民推進委員会は、その一翼を担い、「学んだことを生かしてまちづくり」を合言葉に誇りを持って活動しています。

たちかわ市民交流大学市民推進委員会　会長　真壁 繁樹